

川崎医療短大生、24日発表会

手作りオペレッタ見て



オペレッタのリハーサルに臨む学生

川崎医療短大(倉敷市松島)の医療保育科3年生が24日、手作りオペレッタ(軽歌劇)の発表会を同短大で開く。保育士を目指す学生が、子どもの表現力を育てる技能習得に向けて取り組む恒例イベントで、今年は同科設立10周年記念行事として上演する。出演者たちは「節目を飾るに恥じない演技を」と練習に励んでいる。(鳥越謙一)

医療保育科「10周年記念 節目飾る演技を」

医療保育は、病院など

での乳幼児の遊びや生活 発表会は3年生の必修支援を含む保育分野で、科目「総合表現」の一環。同短大は2005年全国 今回は昨春から、70人が初めて同科を設立し5グループに分かれ「桃

で初めて同科を設立し5グループに分かれ「桃 公演は午後1時45分〜3

た。病気の子や発達障害 太郎」「オズの魔法使い」 時45分、同短大200号教

児にも対応できる保育士 など子ども向けの物語を 室。参加自由で無料。問い

や幼稚園教諭の養成を目標に、独自の脚本や演出 合わせは同科(086-4

指し、これまでに約50 を手掛け、演技の練習を 64-1032)。

0人の卒業生を輩出して重ねている。

20日は、学生たちが本番さながらに舞台でリハーサルに臨んだ。靴店を営む夫婦の代わりに、こびとたちが夜中に靴を作るグリム童話の「こびとのかつや」を演じるグループは、せりふや演技を通してチェック。AKB48のヒット曲「恋するフォーチュンクッキー」に乗せて軽快なダンスも披露した。

同グループリーダーの瀬藤佑香さん(21)は「感謝の気持ちを持つことの大切さを伝えるストーリーに仕上

げた。見た人にメッセージ

を感じてもらえるよう、心を込めて演じたい」と話し